年度 2009　学期 前期	曜日・校時　月曜日・2校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義／(Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 403・201・中部講堂	
対象学生(クラス等)　Ld Ed		科目分類 共通基礎科目	

担当教員(科目責任者) / Ｅメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー

三根眞理子/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:mmine@nagasaki-u.ac.jp/研究室:医学部/TEL:819-7127/オフィスアワー:火曜日午後
石松隆和/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:ishi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2508 /オフィスアワー:月3校時
片岡千賀之/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: kataoka@nagasaki-u.ac.jp /研究室:水産学部/TEL:819-2802 /オフィスアワー:月午後
井田洋子/Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: smile@nagasaki-u.ac.jp/研究室:経済学部/TEL:820-6401 /オフィスアワー: Ｅメールで連絡を受けた後、日時を決定する。

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち，平和を支え，社会に貢献する人材となることを期待する。

授業方法　:特別講演形式と講義形式の両建てにより行い，特別講演は学長，理事，名誉教授などが担当する。講義は，「長崎」3回、「安全・安心」2回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。

授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ，ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により，学生生活の場である長崎の歴史，文化，自然を理解し，長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し，世界を理解する。身近に起こりうる災害や対処法等について学び，安全で安心できる地域社会の大切さを理解する。被爆地長崎を通して平和について学び，平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに，古来より，大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め，長崎の歴史，文化，平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

長　崎：

第１回:長崎と医学　西洋医学発祥の地である長崎の歴史を学ぶ。
第２回:長崎原爆と医科大学　長崎に原爆が投下され、医科大学壊滅から復興の経緯、被災者の救護活動の概要を知る。
第３回:世界のヒバクシャ　原爆以外に核実験や原発事故によるヒバクシャの現状を学ぶ。

安全・安心：長崎に暮らす高齢者や障害者の生活の現状を眺め、安全安心のためになにが必要かについて述べる。

海洋と文化:
第１回:長崎における資本制漁業の発展と魚市場の近代化
第２回:戦後の長崎の漁業と魚市場
第３回:東シナ海・黄海における日本、中国、韓国の漁業関係

平和：　平和とは、少なくとも戦争がない状態をさす(消極的平和)という認識を出発点として、これまでの人類の平和構築に向けての歩みを歴史的に検証する。具体的には、戦争違法化の歴史と理論（第１回)、平和に対する国際社会および日本のこれまでの姿勢や取り組み方、さらには、将来に向けて、われわれ一人ひとりに突きつけられている課題（第２回および第３回）について論じる。

第1回	4月13日	特別講演Ⅰ	片峰　茂（学　長）
第2回	4月20日	長　崎	三根眞理子(医学部)
第3回	4月27日	長　崎	三根眞理子(医学部)
第4回	5月11日	長　崎	三根眞理子(医学部)
第5回	5月18日	安全・安心	石松隆和（工学部）
第6回	5月25日	安全・安心	石松隆和（工学部）
第7回	6月 1日	海洋と文化	片岡千賀之（水産学部）
第8回	6月 8日	海洋と文化	片岡千賀之（水産学部）
第9回	6月15日	海洋と文化	片岡千賀之（水産学部）
第10回	6月22日	特別講演Ⅱ	水田善次郎(名誉教授)
第11回	6月29日	特別講演Ⅲ	藤田雄二(名誉教授)
第12回	7月 6日	平　和	井田洋子（経済学部）
第13回	7月13日	平　和	井田洋子（経済学部）
第14回	7月27日	平　和	井田洋子（経済学部）
第15回	8月 3日	特別講演Ⅳ	橋本健夫（教学担当理事）

キーワード	長崎：西洋医学、長崎原爆、ヒバクシャ 安全・安心：高齢者、地域、福祉、共生 海洋と文化：漁業の歴史、海洋秩序 平和：個人、国家、武力による介入、人権
教科書・教材・参考書	長崎：講義には適時資料を配布。（参考書：長崎医科大学原爆記録集） 安全・安心：なし 海洋と文化：毎回、資料を配付する。 平和：特に指定しない。毎回、レジュメを配布する。
成績評価の方法・基準等	長崎24点、安全・安心１６点、平和24点、海洋と文化24点、特別講演12点の配点とする。 長崎：レポート 安全・安心：レポート 平和：レポート 海洋と文化：レポート
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ/学習・教育目標	
備考(準備学習等)	